

要 約

1,4-ジメチル-2-(1-フェニールエチル)ベンゼンのセスジユスリカによる慢性毒性試験

<試験条件>

- ・被験物質：1,4-ジメチル-2-(1-フェニールエチル)ベンゼン
- ・試験生物：セスジユスリカ (*Chironomus yoshimatsui*)
- ・暴露期間：28日間
- ・試験濃度：1,000、500、250、125、62.5及び31.3 mg/kg(公比2.0)の6濃度区、助剤対照区及び対照区
- ・連数：4連／試験区
- ・試験生物数：80個体／試験区(20個体／試験容器)
- ・試験用水：脱塩素水道水
- ・試験方式：止水式
- ・試験系の調製：供試試料を吸着させた人工底質と試験用水を試験容器に入れた後、試験系の安定化のため、7日間通気を実施して調製
- ・収容密度：2.84 cm²／個体(1個体当たりの底面積)
- ・水温：24±1℃
- ・pH：pH6～9の範囲になるよう調整
- ・照明：室内灯(照度500～1,000 lx)、周期 16時間明／8時間暗
- ・給餌：人工底質に餌として乾燥ホウレンソウ粉末を添加
- ・エアレーション：生物暴露1日後より3～4 bubbles/secになるように実施
- ・被験物質濃度の分析：HPLC法

<結果>

- ・暴露開始時の底質中の被験物質濃度：1,010、500、240、104、59.5及び17.5 mg/kg (上記試験濃度の順)
 - ・28-day EC50：680 mg/kg
 - ・28-day LOEC：1010 mg/kg
 - ・28-day NOEC：500 mg/kg
- (上記濃度は暴露開始時における底質中の被験物質測定濃度に基づく値)